

3) 爬虫類・両生類

田代地区およびその周辺域におけるこれまでの調査で記録された爬虫類はニホンイシガメ、トカゲ、ニホンカナヘビ、シマヘビ、ジムグリ、アオダイショウ、ヒバカリ、ヤマカガシ、マムシの9種、両生類はアカハライモリ、アズマヒキガエル、アマガエル、タゴガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエル、カジカガエルの11種です(表4.2.3)。

埋め立て前の当該地域は複数の沢が流れ、低地部は水田などに利用されていました。また、周囲が山林に囲まれていたことから高い空中湿度が維持され、これら湿潤な環境条件を反映して特にカエル類など両生類の種類・生息数が多い地域でした。

埋め立て時、2カ所の沢を残し、他の沢や水田は埋め立てにより消失し、中央低地部は植物の少ない乾燥した裸地的環境に変化しました。このような環境条件の下で実施した調査では、埋立地内での両生類・爬虫類の確認はほとんどなく、確認は主に保全地域(2カ所の沢)に集中しました(図4.2.2)。

埋め立て前と工事中における爬虫類、両生類の変化の概要を以下に示します(表4.3.1、図4.3.2~3)。

- ・当該地域における湿地・水田など浅い止水環境はすべて消失し、ここを繁殖水域としていた両生類(アカハライモリ、トノサマガエル、ツチガエル、アマガエル、シュレーゲルアオガエル)の多くが減少しました。
- ・一方、従来の環境が残る埋め立て地北側の保全された2カ所の沢には多くの爬虫類・両生類が確認されました。
- ・埋め立て地の東~南側の沢部には計11カ所の砂防堤が建設されましたが、流域に安定した表流水が認められず、爬虫類・両生類の確認数は少なくなりました。
- ・埋め立て部では林縁部を除いて爬虫類・両生類の確認はほとんどありませんが、中央のわずかに残存した細い尾根部(2003年の残存尾根部:高木は切られ、低木類が残存)ではシマヘビ、ジムグリ、ニホンカナヘビなどの爬虫類が確認されました。
- ・モリアオガエルは、当該地域の南西の樹林付近(埋め立て前に本種の生息を確認)に新たに設置された集水枡で幼生が確認されたほか、環境プラザ内に設けられた代替産卵池においても毎年産卵が確認されています。このほか、調整池やワンド造成部でも産卵が確認され、埋め立て後も安定した生息域となっていることが確認されています。
- ・このほか、近自然水路部ではカジカガエルが確認され4月~7月の繁殖期には、美しい鳴き声を聞くことができます。
- ・ただし、トノサマガエルについては、埋め立て直後の2003年まで確認されていましたが、その後の確認がありません。
- ・なお、ニホンイシガメは2019年、調整池ダム直下の溜まり(伊太谷川)で確認したものです。

表 4.2.3 爬虫類・両生類出現種リスト

	目	科	種	埋め立て前 (1998年)	埋め立て以後 (2003年～ 2021年)	
爬虫類	カメ	イシガメ	ニホンイシガメ <i>Mauremys japonica</i>		●	
	トカゲ	トカゲ	トカゲ(ニホトカゲ) <i>Eumeces latiscutatus</i>	●	●	
		カナヘビ	ニホンカナヘビ <i>Takydromus takydromoides</i>	●	●	
		ヘビ	シマヘビ <i>Elaphe quadrivirgata</i>	●	●	
			ジムグリ <i>Elaphe conspicillata</i>	●	●	
			アオダイショウ <i>Elaphe climacophora</i>	●	●	
			ヒバカリ <i>Amphiesma vibakari</i>	●	●	
			ヤマカガシ <i>Rhabdophis tigrinus</i>	●	●	
		クサリヘビ	マムシ <i>Agkistrodon blomhoffii</i>	●	●	
	合計	2目	5科	9種	8種	9種
両生類	サンショウウオ	イモリ	アカハライモリ <i>Cynops pyrrhogaster</i>	●	●	
	カエル	ヒキガエル	アズマヒキガエル <i>Bufo japonicus formosus</i>	●	●	
			アマガエル <i>Hyla japonica</i>	●	●	
			アカガエル	タゴガエル <i>Rana tagoi</i>	●	●
				ニホンアカガエル <i>Rana japonica</i>	●	
				ヤマアカガエル <i>Rana ornativentis</i>	●	●
				トノサマガエル <i>Rana nigromaculata</i>	●	●
			ツチガエル <i>Rana rugosa</i>	●	●	
		アオガエル	シュレーゲルアオガエル <i>Rhacophorus schlegelii</i>	●		
			モリアオガエル <i>Rhacophorus arboreus</i>	●	●	
			カジカガエル <i>Buergeria buergeri</i>	●	●	
合計	2目	5科	11種	11種	9種	

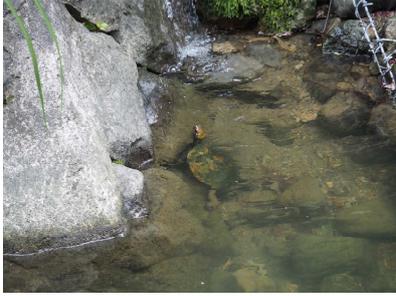
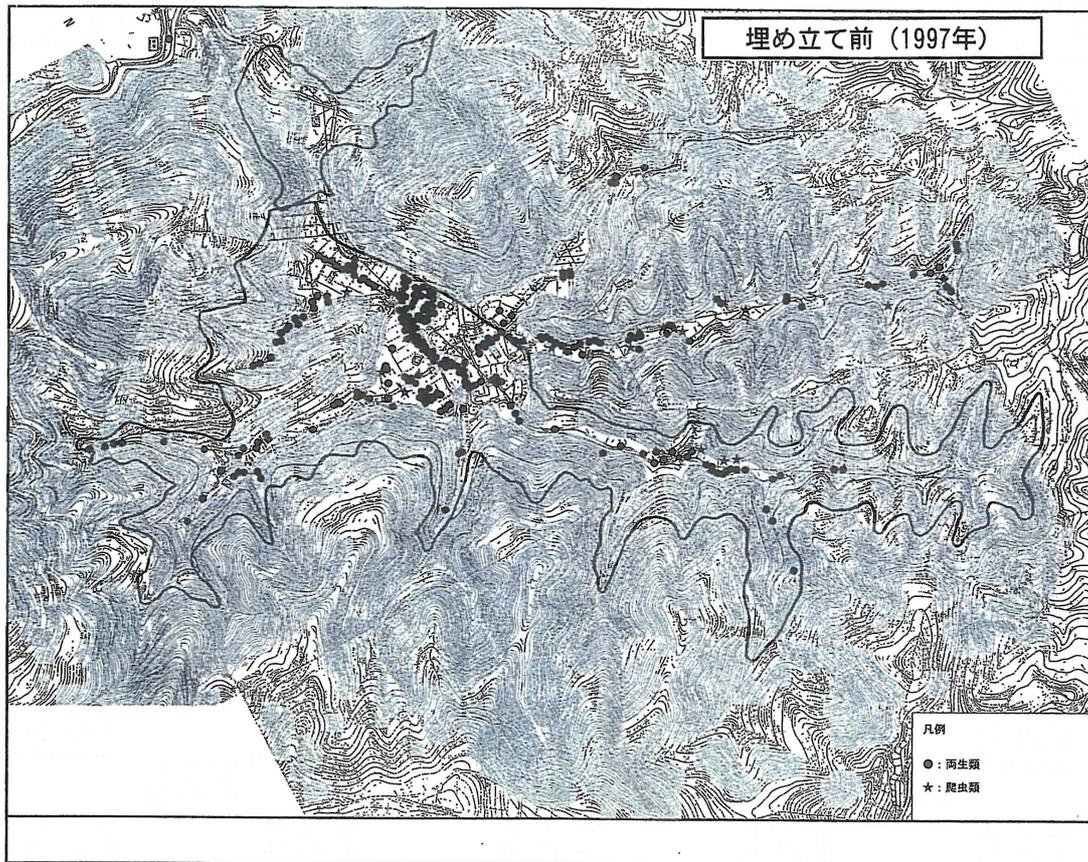
		
ニホンイシガメ 田代 2021. 6. 10	ニホンカナヘビ 田代 2019. 5. 30	アオダイショウ 田代 2010. 5. 28
		
シマヘビ 交尾 田代 2007. 6. 5	ヒバカリ 田代 2021. 5. 24	ヤマカガシ 田代 2021. 5. 24
		
アカハライモリ 田代 2019. 5. 30	モリアオガエル 田代 2017. 5. 27	トノサマガエル 田代 2003. 9. 14
		
カジカガエル 田代 2021. 5. 24	タゴガエル 田代 2006. 10. 25	ツチガエル 田代 2016. 11. 22

写真 4.2.3.1、2 爬虫類・両生類



残存尾根

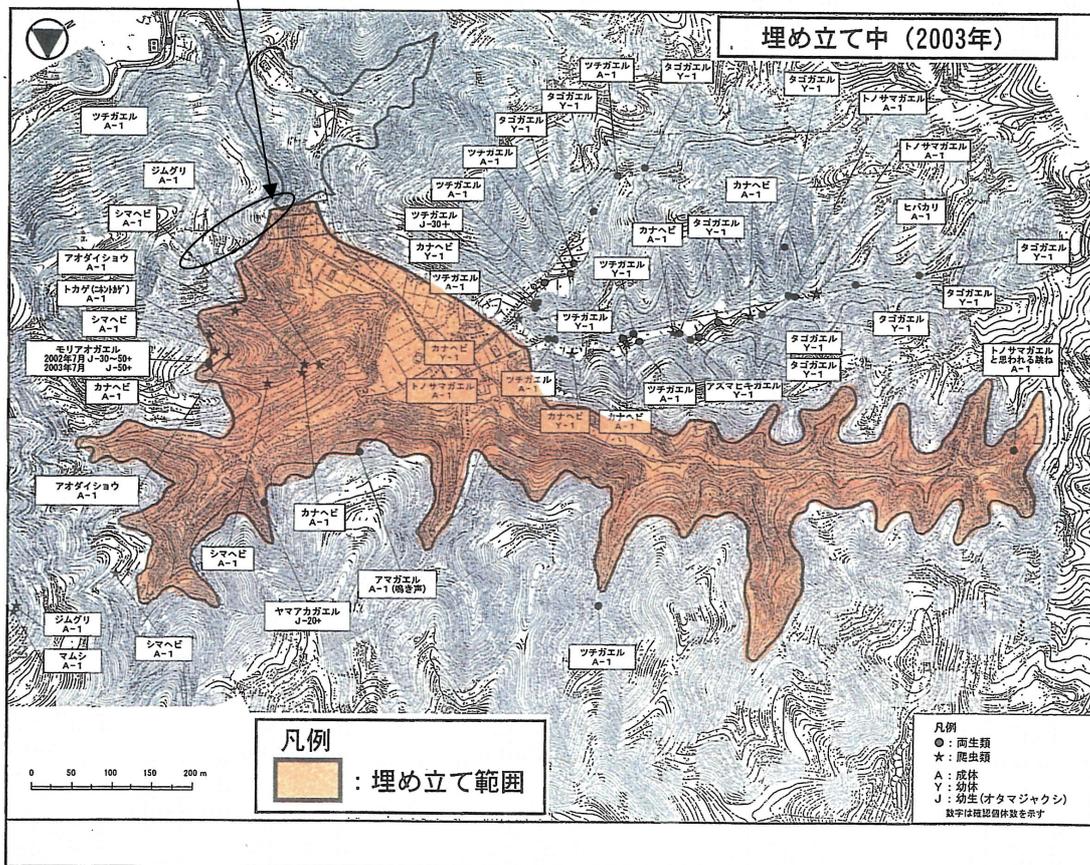


図 4.2.8 埋め立て前 (1997 年) と埋め立て中 (2003 年) の爬虫類・両生類確認状況